

【学習の導入】三分

- T おうちで読んでみた人？ 最初読んでもらうから。
- T (段落番号、絵の番号をふる) 鉛筆は、今日書くところのノートに挟む。挟まないと鉛筆がころがるからね。

【音読】三分

- T 読んでももらいます。順番は？ないね。読む人は立って、ゆっくりはつきり読んでください。聞く人は本を持ってしっかりと聞いてください。

【展開】三十七分

- T 本を静かに置いてください。ゆっくり、はつきり読んでくれましたね。
- T 走れ(と板書)
- T 運動会を楽しみにしていた人がいました。誰ですか？
- C けんじ。
- T その反対の人は？
- C のぶです。
- T もう一人、大事な人は？
- C お母ちゃん。
- T お母ちゃんはどんな仕事？
- C お弁当の仕出し屋さん。
- T 仕出して分かる？ 作って売る。届けるまでする。
- T 誰がやっているの？ 前は？
- C お父ちゃんと。
- T お父ちゃん亡くなってしまったので、今は一人。お手伝いの人はいるようだけど。
- T お母ちゃんは運動会が？
- C 楽しみ。
- T 題が走れって言うんだけど、走れって言われている人は誰ですか？
- C のぶよ。
- T のぶが走れって言われた絵がある。六番の絵。
- C うれしそうな顔。
- T 朝からこういう顔？
- C (首を振る)
- T 最後の絵は(七番の絵)？
- C みんな笑っている。
- T そういうお話です。



T これから、黒板（のよう）に、のぶよのしたことを、読んだことから書いてもらいます。ノートの上に横に一から七まで番号を書いてください。

C （ノートに書く）

T 一番でのぶよはと書いてあるのは？

C のそのそとふとんをたたんだ。

T 短く言うよと（たたむと板書する）。

T 二のところでのぶよは？

C ぎりぎりまで。

C 待っていた。

T 短く待って（待ってと板書する）

T というふうにして、三から七まで、自分で探して書いてください。二つ以上あるときは、自分で選んでいいです。六だけは、「のぶよは」とは出てこないの、したことを自分で選ぶ。では、始めてください。

C （自分たちでノートに書く）

T 途中の人も顔を上げて。違っても直す必要はないです。

T 三は、開く。

T 四は、後ろから取りました。（見せたと板書する。続けて、五おし出した、六走った、七走りだしたと板書する。）

T （黒板を指して）一緒に読みます。目だけで読む、声出さないで。

C （目で読む）

T 読みましたね。次に声を出して。少し腰を立てて。

C （声を出して読む）

T （一の）たたむ、何を？

C ふとん。

T （二の）待っては？何を待ったの？

C お母ちゃん。

T （三の）開いたのは何だ？

C 弁当です。

T （四の）見せたのは何？

C わりばし。

T のぶよが短距離走を走ったのは何番から？ そう五番目（の段落）から。

T 何番だっけ？

C ラスト、ビリ。

T けんじの短距離走は何番？

C 二番。

T 順位は？

C 一番。

T けんじは一位、のぶよはラスト。



- T 走った後、おもしろくなくなったのはどっち？
- C けんじです。
- T そのわけは？ この中ではどれ？（黒板の段落を指して）
- C 三番です。
- T 三の弁当？
- C 二番です。
- T お母ちゃんどうして？
- C お母ちゃんが来ていないから。
- T （けんじが）いつから待っていたか分かる？
- C 走る前。
- T いつから楽しみにしていたか？
- C 昨日の夜から。
- T もう一つおもしろくないのは？
- C 手作りの弁当じゃなかったから。
- T お母ちゃんの今年の楽しみは何？
- C 運動会。
- T 運動会で何を見たいの？
- C けんじの走るのを。
- T 後は？
- C のぶよが走るの。
- T その気持ちは何に書いてあった？
- C わりばしに書いてあった。
- T 母ちゃん、けんじの走るのを見ることはできなかった。
- 弁当は食べてもらえなかったよ。食べないでけんじは行ってしまいました。お母さんの顔が笑顔だったのが？
- C 消えた。
- T のぶよが二人のことを考えてしたことは何だ？
- C 四番。
- T 四番です（黒板の四に○を付ける）。
- T お母ちゃんとけんじがのぶよのことを考えてしてくれたのは何番？
- C 六番です。
- T 六番です。五と六ののぶよはちょっと違うでしょ。

【まとめ】二分

- T ここはどこでやったこと？ 二以降。学校。
- T 学校も二つに分かれる。
- C 二から四と五から七。
- T これ読んで終わりにしましょう。
- T さようなら。
- C さようなら。

